

中能登町 橋梁長寿命化修繕計画

令和 4 年 3 月

 中能登町 土木建設課

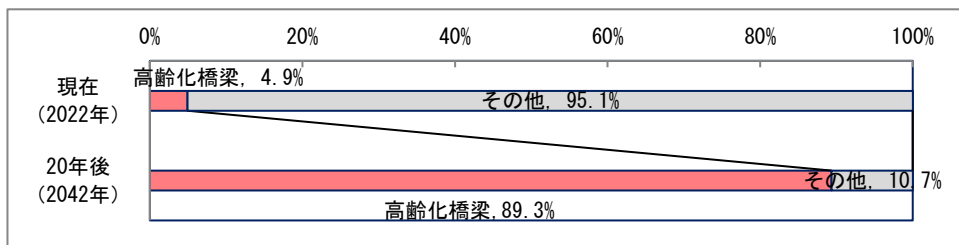
中能登町橋梁長寿命化修繕計画

令和4年3月

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

1) 背景

中能登町が管理する橋梁は **241 橋**あり、このうちの12 橋 (4.9%) については架橋から50 年以上経過した **高齢化橋梁**である。20 年後には218 橋 (90.4%) に増加する。高齢化橋梁を迎える橋梁に対し、従来の事後保全型の維持管理を続けると膨大な維持管理コストとなり適切な維持管理を継続することが困難となる恐れがある。



今後の高齢化橋梁の推移

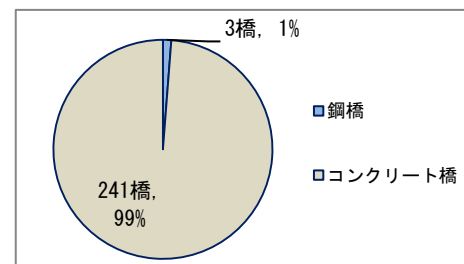
2) 目的

高齢化が進む橋梁の安全性を確保することにより、道路ネットワークの安全性・信頼性を維持する。また、計画的な橋梁長寿命化を実施し、修繕及び更新のトータルコストの最小化と平準化を図る。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	橋梁数	備考
全管理橋梁数	241 橋	
うち計画の対象橋梁数	241 橋	
うちこれまでの計画策定橋梁数	81 橋	橋長 5m 以上の橋梁
うち令和3年度計画策定橋梁数	241 橋	橋長 2m 以上の橋梁

- 長寿命化修繕計画の対象：241 橋
橋長 2m 以上の鋼橋及びコンクリート橋を対象



3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

橋梁の架設年度や立地条件を考慮し、橋梁点検要領に基づき、5年に1回の定期点検を実施し、橋梁の損傷を把握する。



定期点検状況



定期点検状況

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

管理橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロールや清掃などの実施を徹底する。



パトロール状況



清掃状況

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- ① 従来の事後保全型の管理から劣化の進行を予測したうえで、損傷が深刻化する前に修繕を行う予防保全型の管理に転換し、修繕・架替えに係る費用の縮減を図る。
- ② 健全度評価に加えて、路線の重要度や交通量を考慮したうえで修繕計画の優先順位付けを行う。
- ③ 効率的かつ効果的な管理を行うため、橋長や劣化要因により管理橋梁のグルーピングを行い、管理目標限界を定め、計画的に修繕を行う。

グループ	内 容
A	緊急輸送路上の橋梁及び跨線橋・跨道橋
B	上記以外の町道橋のうち、橋長 15m 以上の橋梁
C	上記以外の町道橋のうち、橋長 15m 未満の橋梁
D	橋長 15m 未満の町道橋のうち、統廃合が可能な路線にかかり、利用状況から撤去が効果的な橋梁

グループ毎の管理目標限界

	健全性	橋梁 長寿命化	グループA		グループB		グループC		グループD
			A-S	A	B-S	B	C-S	C	D
良	I	5	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
		4	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検	定期点検
↑	II	3	小規模補修	小規模補修	小規模補修	小規模補修	小規模補修	小規模補修	定期点検
		2	中規模補修	中規模補修	中規模補修	中規模補修	中規模補修	中規模補修	定期点検
		1	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	撤去
悪	IV	1	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	大規模補修更新	撤去
橋梁数			0 橋	0 橋	0 橋	22 橋	20 橋	199 橋	3 橋

— は管理目標限界を示す

平成27年度～平成30年度 点検結果

5. 次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

年(西暦)	補修(更新)橋梁数	点検橋梁数
2022年	2 橋	58 橋
2023年	3 橋	49 橋
2024年	5 橋	47 橋
2025年	4 橋	30 橋
2026年	6 橋	60 橋
2027年	11 橋	58 橋
2028年	6 橋	49 橋
2029年	8 橋	47 橋

※補修は橋梁補修で一般的なひびわれ注入工や断面修復工（コンクリート部材）、塗装塗替工（鋼部材）などを実施します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

予防保全型の維持管理を進めることで、修繕と架替えに要する費用は今後の50年間で約81.1億円から14.0億円と約67.1億円のコスト縮減が見込まれる。

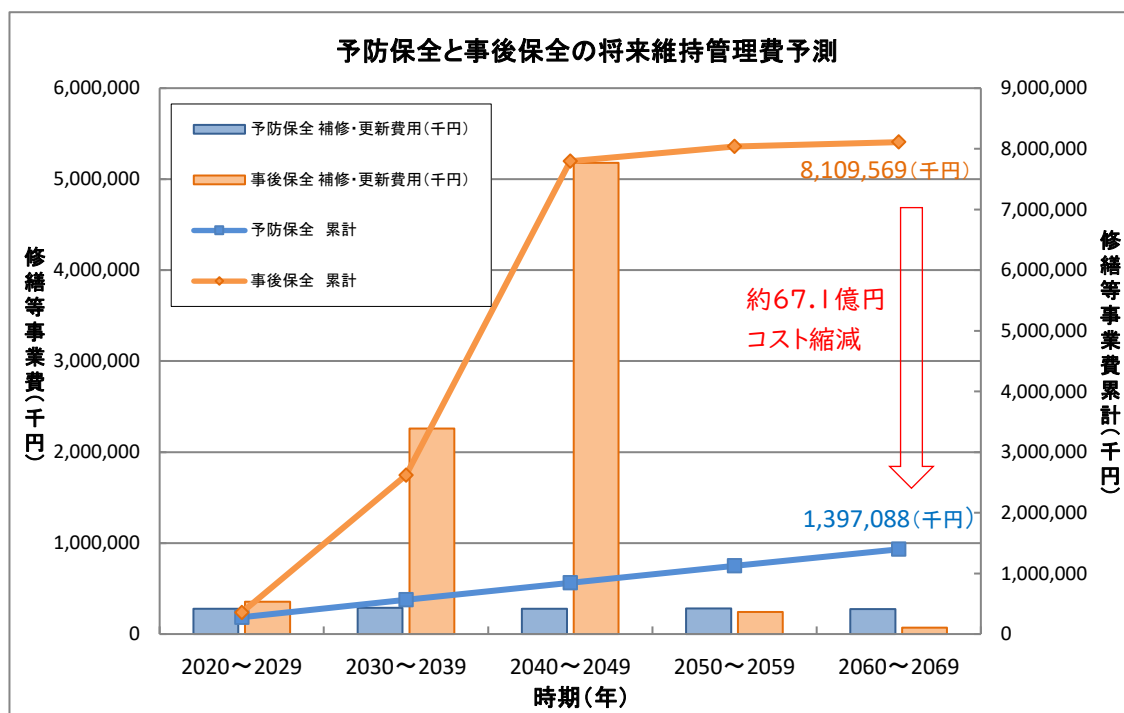
さらに以下の取り組みを実施することで令和13年度までに約14.6百万円のコスト縮減を目指す。

1) 集約化・撤去

管理する橋梁のうち、迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、令和13年度までに1橋の集約化・撤去を検討する。

2) 新技術等の活用

管理する橋梁241橋のうち、簡易点検が見込める橋梁159橋について、新技術の活用を目指す。点検・診断にあたっては、人工知能(AI)による点検支援技術の活用、修繕工事においては、新材料や新工法等の活用に向け、導入検討を行う。



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

■ 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

石川工業高等専門学校 環境都市工学科

津田 誠 教授

🗨️ 問い合わせ先

中能登町 土木建設課

〒929-1692

石川県鹿島郡中能登町能登部下91部23番地

電話：0767-72-3920 ファックス：0767-72-3929